

会 議 結 果

会議名	平成30年度第3回西尾市立図書館協議会
日 時	平成30年12月19日（水）午後3時00分～4時10分
場 所	西尾市立図書館 ボランティア室
出席者	安井会長、尾崎副会長、小嶋委員、浅井委員、相庭委員、鳥山委員、大須賀委員
市係等出席者	内藤部次長、今井図書館長、原田館長補佐、生田主任主査、
傍聴者	無し
<p>協議会の中で出されたことは以下のとおり。</p> <p>1 あいさつ 安井会長</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 蔵書点検結果について</p> <p>事務局（説明） 図書館では、今年度10月30日から11月8日までの9日間で蔵書点検を行いました。蔵書点検は、西尾市の4つの図書館、6つの配本所にあります図書、雑誌、視聴覚資料あわせて73万冊あるうちの、この期間に貸出に出ておらず棚に残っているものをすべて、ハンディタイプの機械でバーコードを読み取り、紛失した資料はないかを点検する作業です。一人で1日に5000冊から7000冊のバーコードを読み取るという作業を行います。</p> <p>図書館の一年で一番過酷な作業を行った結果、資料1の一番下の数字を見ていただき、521というのが今年度初めて不明となった本の冊数です。昨年度と今年度の2年連続で不明となっていますのが403冊、3年連続で不明となったものが395冊あり、操作ミスもあるわけですが3年間続けて不明ということは、もう出てくる可能性がないため、西尾市立図書館資料除籍実施要綱第2条第2号により、除籍させていただきました。</p> <p>蔵書点検で不明となったものでも、セルフ貸出機での貸出がうまく操作できずに貸出にならないまま外に出てしまったものや、薄い本や棚の奥に入ってしまった本などで点検漏れになったものもあるため、今年度は不明となってしまったが、翌年にはちゃんとあるというものもあるため、3年連続で不明となった本を除籍しております。</p> <p>不明、除籍になった本の内訳といいますか、傾向ですが、冊数的に一番多いのは小説ですが、ほかにパソコン関係、仏教キリスト教関係、株や投資の関係、医学書、英会話集、といった分野です。なお、蔵書点検の日数ですが、通常ですと4日間程度で行っておりますが、今年度はこの期間に図書館情報システムの入替を行いましたので例年よりも日数が多くなっております。</p> <p>委 員（質問） 点検期間中に貸し出されている本はどのような扱いなのか？ →貸出というチェックがされるので不明としては計上されません。</p> <p>委 員（質問） 専門性の高いものや郷土資料は特殊な本なのだが、貸出の記録は全くないのか。 →参考図書や郷土資料などは、館外貸出しない資料であるがため、無断で館外への持ち出しされてしまうことも考えられます。</p> <p>委 員（質問） 他の図書館や大学図書館などでは、無断持ち出しすると玄関でブザーが鳴るなどの装置があるが、設置を考えないか。 →それぞれの本にICチップを貼り盗難を防ぐ装置ですが、このシステムをいれる</p>	

と盗難防止機能だけでなく、蔵書点検も簡単に短期間でできるので、ぜひ導入したいのですが、導入経費が非常に高いので、なかなか予算化が出来ない状態です。

委員(質問)本が無くなる原因として、小さな子どもでもセルフ貸出機で貸出処理するので、上手く処理されないで不明になっていると思うが、どのくらいあるのか

→不明冊数が1回521冊から2回目403冊に減っていますが、1年の内には貸出処理誤りの本は返却されます。それ以後はほとんど発見されないなので、故意の持ち出しの本ではないかと推測します。

委員(質問)貸出は上手く出来ないが、返却は窓口やポストで返却されるので不明図書ではなくなるということか。高齢の利用者がセルフ貸出機で貸出処理されなくて、貸出済のレシートが出てこない場合など不安である。

→今秋、図書館システムが変わって利用画面が変わりました。今までと利用画面が変わったことにより貸出ミスが一時的に増えることが予想されるが、貸出処理の操作で「確認」の項目が多くなったので、機械操作に慣れてくれば処理ミスが減ると考えています。

(2) 各館の運営について

事務局(説明)第2回図書館協議会でも説明をしましたが、一色学びの館は今年度から指定管理者制度を導入し、エリアプラン西尾(直接はエムアイシー)が運営しております。運営に対するモニタリングの体制は、「月例モニタリング会議」、「四半期モニタリング会議」、「全体モニタリング会議」を行っています。

資料2は、11月開催した四半期モニタリング会議に提出した、図書館が一色学びの館の平成30年7月から9月までの3か月間の運営に対しての判定書です。判定は4段階で評価し、◎は要求水準以上 ○は要求水準達成、△は改善を望む、×は未達としています。

全体的に一色地域文化広場、3館(子育て・多世代交流プラザ 一色町公民館・一色地域交流センター 一色学びの館)の包括運営は、おおむね良好に行われています。また、担当職員の対応も丁寧で親切だと好評です。本日の配布資料の「学びの館に行こう」をご覧ください。これは冬休み期間中に学びに来てもらえるように一色地区の小学校に配布するものです。このチラシには載ってはいませんが、子育て・多世代交流プラザにあるキッチンスタジオで、絵本の読み聞かせと出てくるお菓子を作る講座など、親子で楽しめる企画がされています。一方、今年は7月から9月にかけて、台風のため休館が3日間ありました。その時の被害報告等の対応に改善を要望しました。また、図書館分館として、郷土関係等の問い合わせに答えられるよう、図書館職員として専門研修の実施を行い、図書館業務の充実を望みました。今回、指定管理のモニタリング会議がありましたので、一色学びの館の判定書を委員の皆様にご確認いただきました。業務委託している吉良図書館と幡豆図書館も来年度5月で委託期間が満了となりますので、運營業務を評価してまいりたいと考えております。

続いて、本館のおもちゃ館についてお話しさせていただきます。おもちゃ館は岩瀬文庫の児童館として大正14年に建てられ、昭和61年おもちゃ館として改装されました。平成11年には国登録有形文化財建築物に指定されています。市立図書館では、常時一般に開放し、おはなし会等行事に利用していましたが、現在は、耐震整備をしていないので、「西尾っ子読書フェスティバル」、「図書館まつり」、「にしお本まつり」の行事にのみ利用し、常は施錠し、外観を見ていただくのみとなっております。しかし、経年劣化による塗装のはがれ等が著しいため、平成31年度修繕工事

を行ってまいります。今後は西尾市の文化財の長寿命化計画をしておりますので、岩瀬文庫旧書庫と一緒に、利活用と保存を考えてまいります。

委員(質問) 31年度の工事は耐震工事も実施するのか。

→31年度は外壁補修と塗装工事で、文化財建築物の応急的な補修工事です。耐震工事は、長寿命化計画で今後の利活用と保存の方針を決めてから、用途に併せた改修工事をしていきます。

(3) その他 子ども読書活動推進計画の進捗状況

事務局(説明) 子ども読書活動推進計画は現在は第三次計画で、平成29年10月から平成34年9月までの期間で、それぞれの施策に目標値を定めて事業をおこなっています。その進捗状況については、安井会長を委員長とし、役所の関係課や学校、ボランティアで構成する「子ども読書推進会議」で見守っていきます。事務局は図書館であり、この11月19日に本年度の推進会議を開催しました。その進捗状況を4段階で評価しました。◎は「もう既に目標を達成している」項目で、全体の54項目のうち22項目。○は「このまま取り組んでいけば、5年後の目標値は達成できる」は18項目。△は策定時の実績値を下回っている、或いは目標達成が危ういは10項目。×は「未実施、達成が難しい」は3項目。－は平成29年度には該当しない項目で1項目です。

×について詳細を説明。基本方針3-1-(1)は、読み聞かせの推進のための重要な図書館の施策であるにもかかわらず、前年実績を下回っている。

基本方針4-4-(1)は、図書館システムの問題であるが、横須賀・西野町ふれあいセンターにシステム導入を検討しましたが、利用度が低く費用対効果からも断念した。

次に、第3次達成度進捗状況表(平成30年度見込み)について説明。見込みについては、表のとおりです。なお、この表中に記載のない事業についてですが、基本方針1に該当する事業で、健康課事業の「マタニティクラス」ですが、妊娠期から読書の楽しさや絵本について伝える取り組みをカリキュラムに加え、図書館員が年4回出向きお話しします。また、児童クラブの児童厚生員の研修で「子どもへの読み聞かせの方法」を実施されたことです。図書館に事前に相談いただき資料等でご協力させていただきました。

基本方針4-4-(1)(2)に「子ども読書のホームページ」の関係ですが、本年度11月に図書館システムが更新しホームページも新しくなったので、ビデオプロジェクターで新ホームページをみていただきながら説明する。

- ①子ども読書のサイトができ、イベント、行事など子ども読書全体のことを載せている。お話し会やブックスタートの予定もみることができる。
- ②学校の団体貸出用の図書もホームページから検索できるようになった。
- ③システムの更新により自由度が増したため、使いこなして効率的な図書館運営を行いたい。学校支援サービス専用図書もホームページで検索できるようになった。

子ども読書は図書館の事業の大きな割合を占めており主管課であるので、図書館協議会も見守っていただきたい。

会長 学校関係についてご意見はありますか。

委員(意見) 昨年から学校司書が授業に参加していく取組をしている。研究授

業などでも活動の方法を研究している。学校司書は自主的な勉強会を行うなど精力的に仕事をしている。

委員（意見） 学校図書館の使い方として「本を読む場所」としての活用が思い浮かぶが、「学習情報センター」としての機能を引き出していくとよい。

委員（意見） おやこ読書ノートを園児に配っていただいたが、その後の活用状況についても、調べていきたいと思う。また、保育園は図書館から、絵本や紙芝居を配送してもらい子どもたちも楽しみにしているが、職員はとても頼りにしている。

(3) その他 連絡事項

事務局 動物写真家の岩合光昭氏が監督し、佐久島で撮影された映画「ねことじいちゃん」が2月22日封切されるため、自身の著作本や佐久島関連図書を展示する。行政と図書館のコラボした企画展示を実施し、市民へPRする。

事務局 次回の第4回図書館協議会の開催日（2月下旬から3月中旬）について、日程調整を依頼。

内藤教育部次長 謝辞

会長により西尾市図書館協議会を閉会した。